

dynaCloud Backup

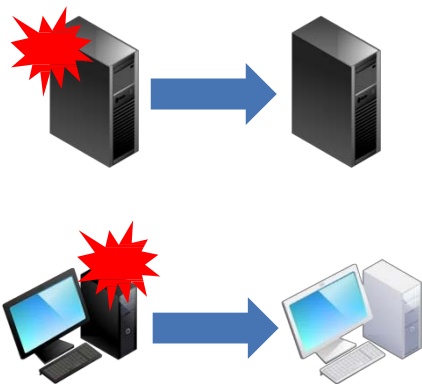
商品説明資料

Dynabook株式会社
国内B2B営業本部 国内ソリューション営業部

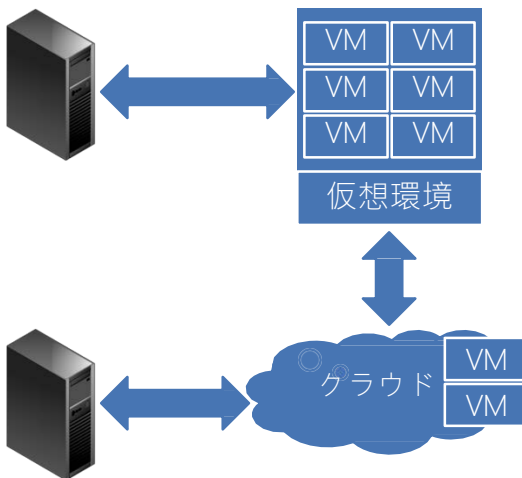
バックアップ要件の多様化

- 震災から7年が経過し、企業のバックアップ要件は多様化

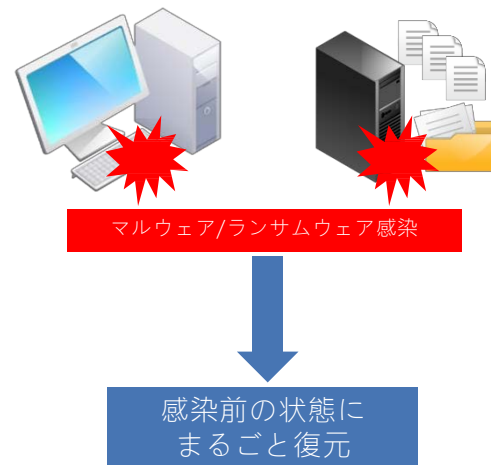
システム復旧



システム移行



セキュリティ



データ保護の変化



汎用のハードウェアによるスケールアウト



アクセス速度の継続的な向上



コスト効率の良いストレージ



複数のロケーション
複数のデバイス



クラウド
アーキテクチャ



データ容量の増大



即時
アクセス



データに対する
100%の信頼

これからの
データ保護

- ・ **すべてのデータ**が保護対象になる
- ・ **すべての企業**に完全なデータ保護が必要になる
- ・ データ保護において、**簡単、広範囲、導入のし易さ**が必須条件になる

求められるデータ保護対策

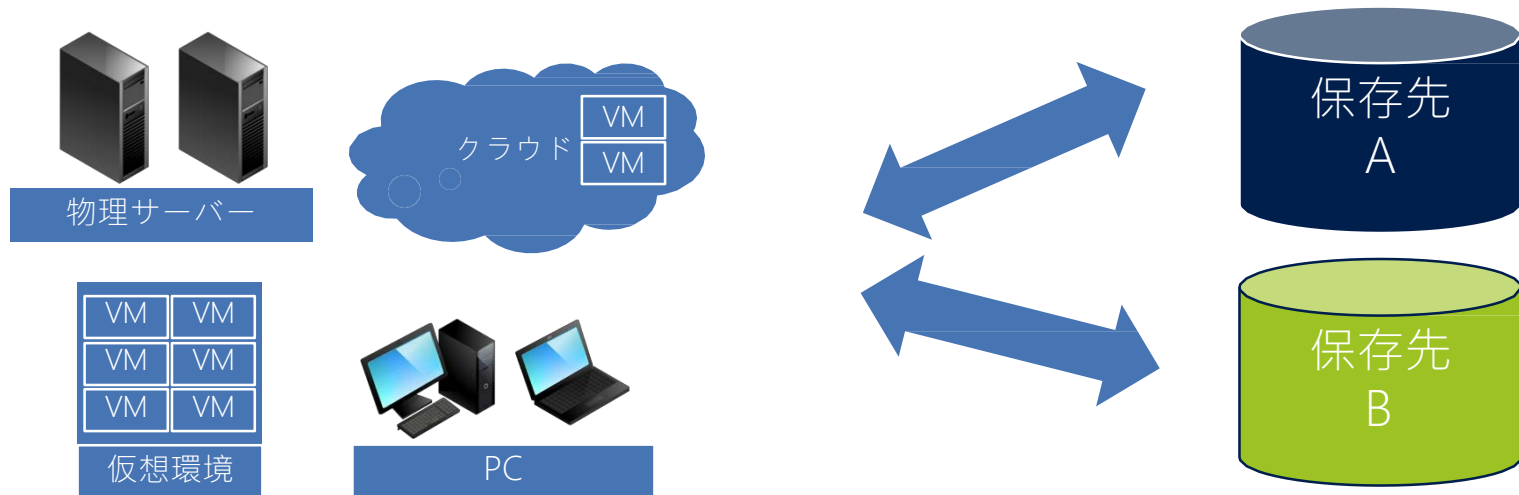
データ消失が「起こるか起こらないか」

ではなく、「いつ起こるか」

を想定したデータ保護対策が重要！

バックアップの課題

- すべてのバックアップを一元管理（管理負荷の軽減）
- データの保存場所を複数持つ（DR/BCP対策）

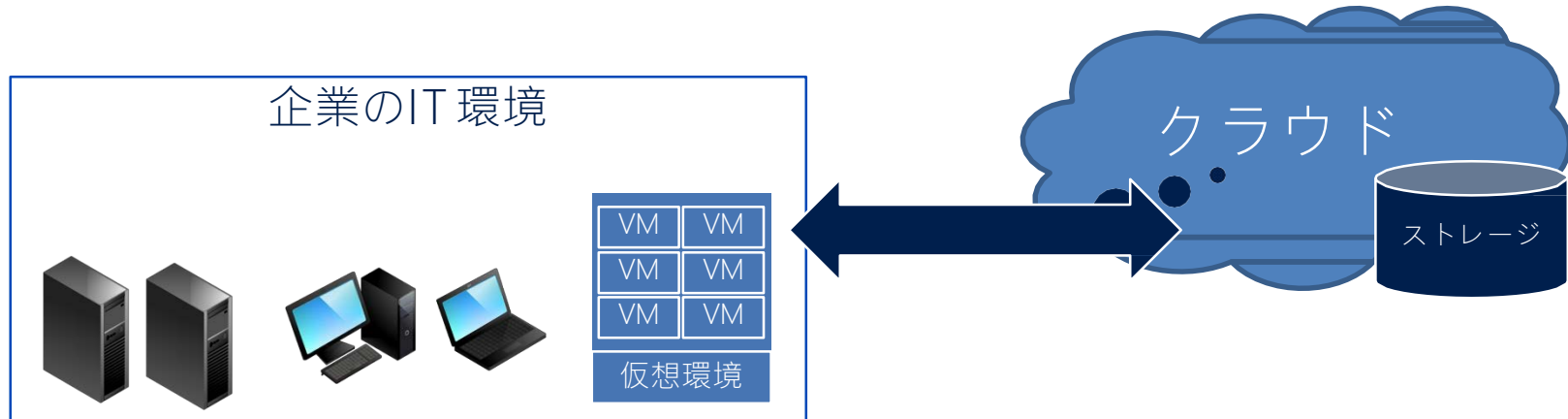


バックアップ・復元をまとめて管理

複数の場所にバックアップを保存

高まるクラウドバックアップの需要

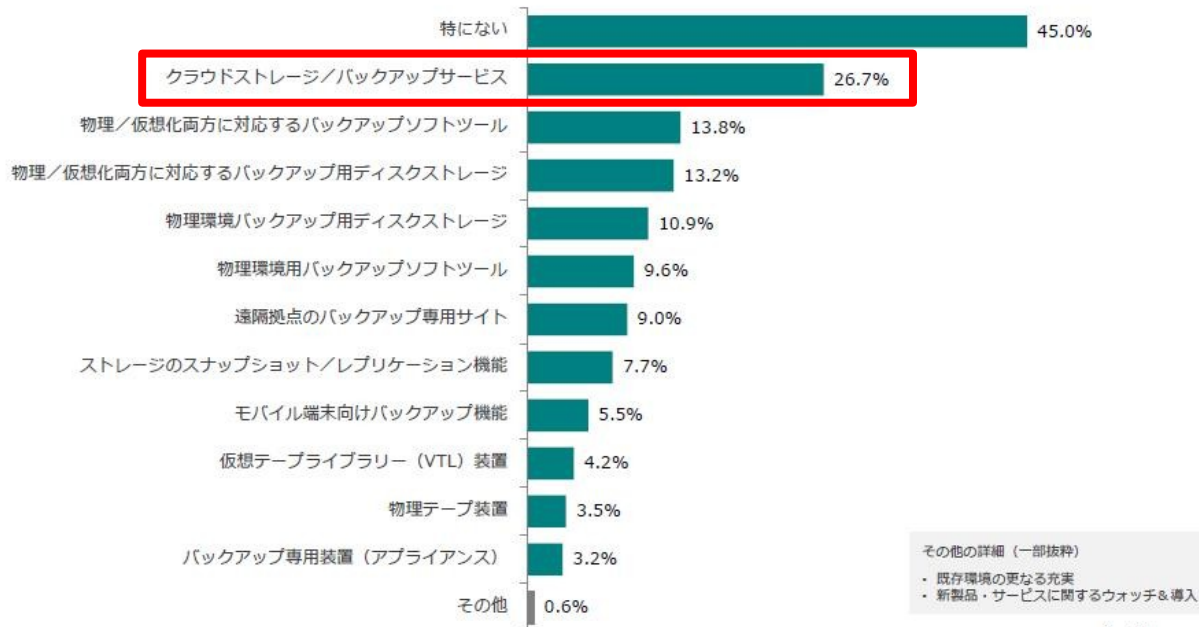
- クラウドのセキュリティ、信頼性の向上
- クラウドストレージ利用によるコストメリット
- DR/BCP観点での外部へのデータ保管



市場の3割がクラウドバックアップを検討

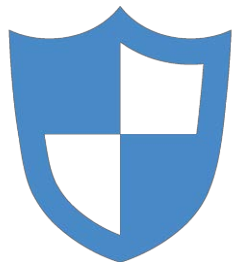
導入予定の製品・サービス

今後、導入予定または検討中の製品・サービスがあれば選択してください（複数選択可）。



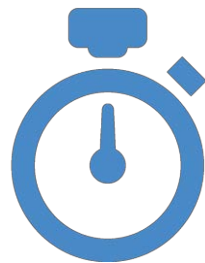
アイティメディア株式会社 TechTargetジャパン、キーマンズネット
2017年3月実施 「企業のバックアップ/リカバリ環境に関するアンケート調査」より転載・無断転載禁止

2018年はクラウドバックアップ元年



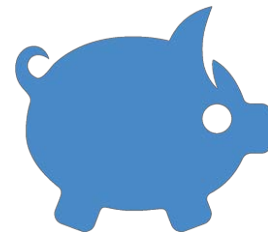
高セキュリティ

- 通信経路暗号化
- データ暗号化
- 堅牢なデータセンター



高速化

- データ圧縮
- 増分バックアップ/復元
- 使用帯域の低減

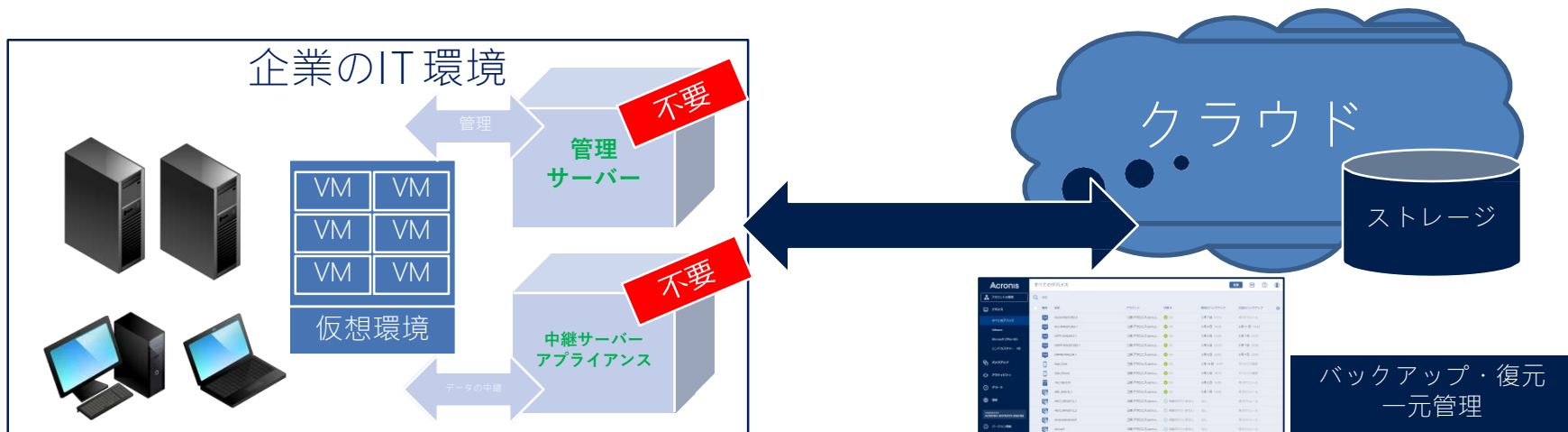


価格の最適化

- ストレージコスト低減
- Software-Defined Storage

dynaCloud Backupが定義するサービス

- クラウド上でバックアップ・復元を一元管理
- オンプレミスにバックアップ管理サーバーの設置不要
- バックアップデータを中継するためのサーバーやアプライアンスの設置不要



ランサムウェアにバックアップが必要な理由

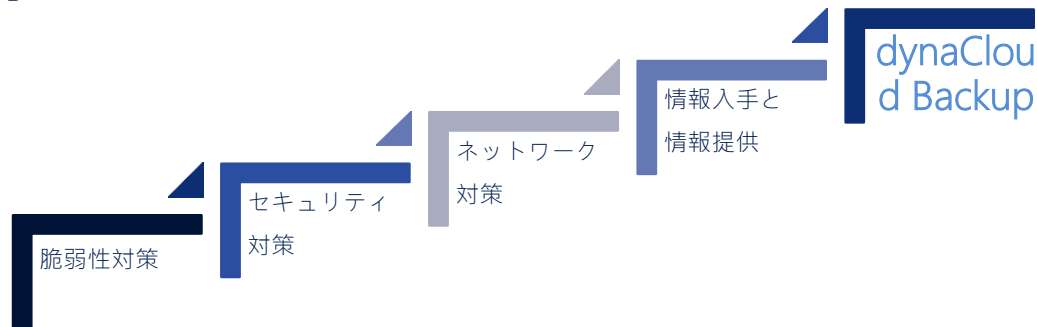


- ランサムウェアにはさまざまなタイプが存在
 - ファイルを暗号化するランサムウェア
 - ファイルを削除するランサムウェア
 - OSを起動不可にするランサムウェア

- 感染するとOSの初期化とサービスパック、パッチの適用が必要になり、1台のマシンの復旧に半日～数日かかってしまう

ランサムウェア対策のデータ保護

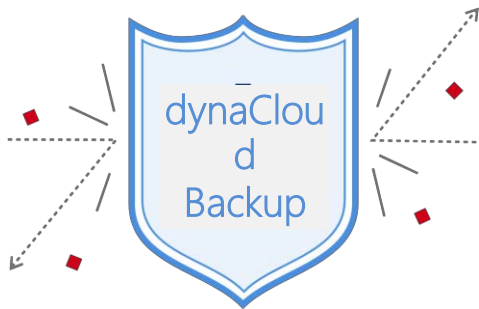
- 既知の脆弱性への対策
- 最新のセキュリティソリューションの導入
- ネットワークのセグメント化によるワームの拡散防止
- 定期的な情報の入手および顧客への情報提供
- **dynaCloud Backupの導入**



dynaCloud Backupのランサムウェア対策



- クラウドバックアップ
 - バックアップ対象のエージェントソフトとクラウドストレージ間のSSL/TLSで暗号化された経路上を独自のプロトコルで通信
⇒SMB等のOS標準のものを使用しない
 - バックアップを実行する時だけ通信
⇒テープバックアップと同等のデータセキュリティ



- Active Protection
 - dynaCloud Backupに標準搭載
 - システムとデータを保護するためにランサムウェアを検知・遮断・感染したファイルを即時復旧
 - エージェントソフトの乗っ取りを阻止
 - 振る舞い検知が未知の脅威からもシステムとデータを保護

Active Protection

ランサムウェアなどの脅威からデータをアクティブに保護



- 許可されていない改変や暗号化から**ファイル、システム、バックアップデータ**を保護
- エージェントソフトウェアの**乗っ取りとエージェント経由のクラウド上のバックアップデータの改変を阻止**
- 振る舞い検知とホワイトリストをベースにしているため、**将来発生する脅威にも対応**



万一、ファイルがランサムウェアによって改変された場合も**すぐに検知・遮断し、ファイルを即時復旧**

さまざまな原因による物理データの損失

dynaCloud Backup
へのバックアップ

攻撃を受けたときに
クラウドからデータを復元

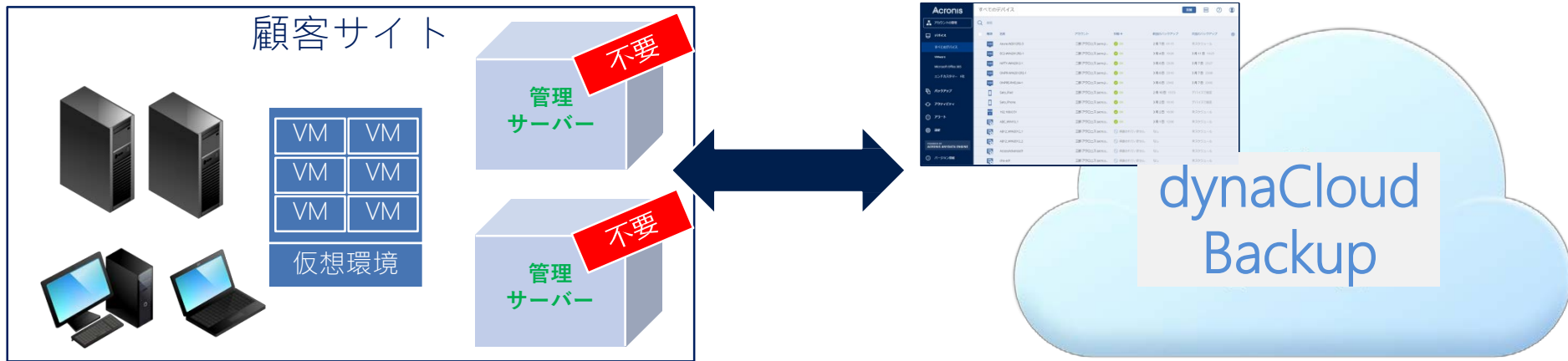
Active Protectionによってクラウド上のデータを保護

Active Protection
による検知と復元

ランサムウェア

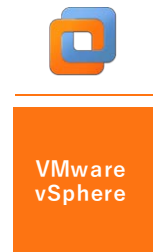
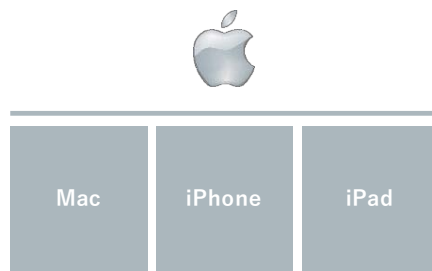
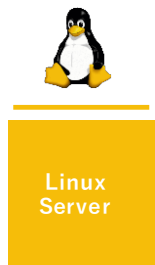
クラウド上でバックアップを一元管理

- すべてのバックアップ対象をクラウド上で一元管理
- バックアップ管理サーバーが不要なため、バックアップ対象が増えた場合の管理サーバーの増設やサイジングの悩みゼロ



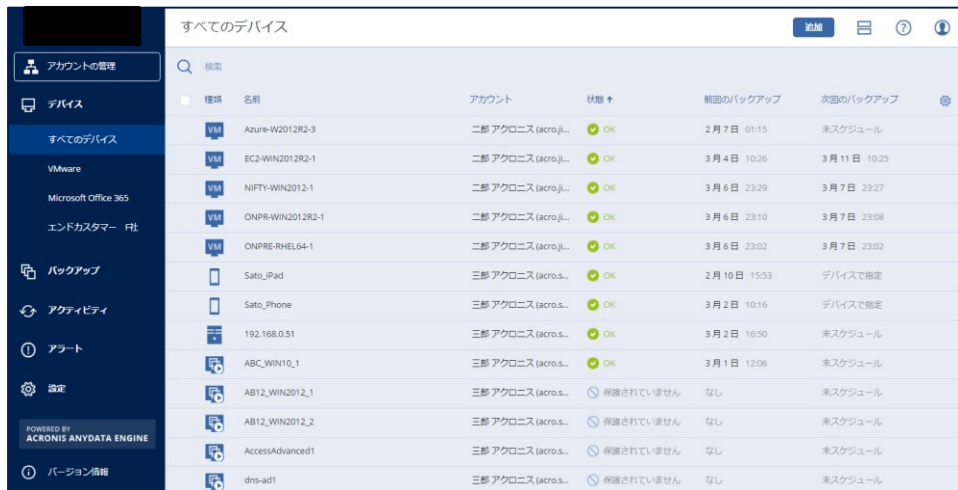
幅広いバックアップ・復元対象

中堅中小企業のIT環境全体を保護
16のOS/プラットフォームをサポート



- 主要なハイパーバイザー
- 主要なクラウドプラットフォーム
- 主要なオペレーティングシステム
- Office 365 メールボックス
- モバイルデバイス
- クラウド管理コンソール
- 異なるハードウェアへの復元
- さまざまなシステム移行
- クラウド&ローカルバックアップ

すべてのバックアップを同一の画面で管理

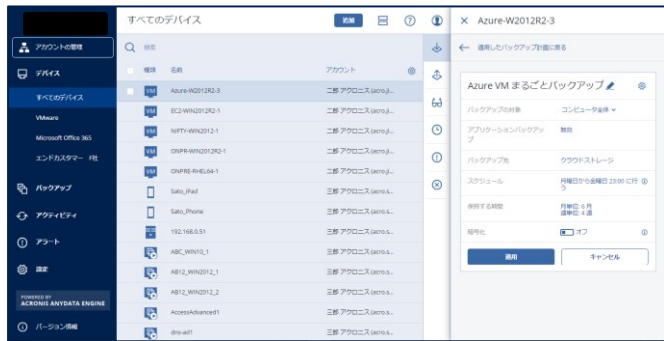


The screenshot displays the Acronis Backup management interface. On the left is a navigation sidebar with options like 'アカウントの管理', 'デバイス', 'バックアップ', and 'アラート'. The main area is titled 'すべてのデバイス' and contains a table of managed devices. The table columns include '種類' (Type), '名前' (Name), 'アカウント' (Account), '状態' (Status), '前回のバックアップ' (Last Backup), and '次のバックアップ' (Next Backup). The table lists various devices such as Azure VMs, VMware VMs, and physical servers, all showing a status of 'OK'.

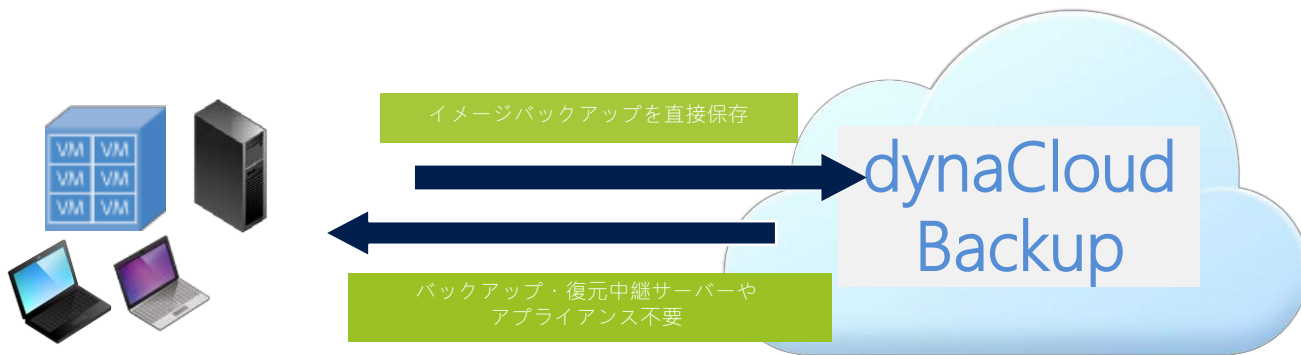
種類	名前	アカウント	状態	前回のバックアップ	次のバックアップ
VM	Azure-W2012R2-3	三郎 アクロニス (acro.ji...)	OK	2月7日 01:15	未スケジュール
VM	EC2-WIN2012R2-1	三郎 アクロニス (acro.ji...)	OK	3月4日 10:26	3月11日 10:25
VM	NIFTY-WIN2012-1	三郎 アクロニス (acro.ji...)	OK	3月6日 23:29	3月7日 23:27
VM	ONPR-WIN2012R2-1	三郎 アクロニス (acro.ji...)	OK	3月6日 23:10	3月7日 23:08
VM	ONPRE-RHEL64-1	三郎 アクロニス (acro.ji...)	OK	3月6日 23:02	3月7日 23:02
モバイル	Sato_iPad	三郎 アクロニス (acro.s...)	OK	2月10日 15:53	デバイスで指定
モバイル	Sato_Phone	三郎 アクロニス (acro.s...)	OK	3月2日 10:16	デバイスで指定
サーバー	192.168.0.51	三郎 アクロニス (acro.s...)	OK	3月2日 16:50	未スケジュール
サーバー	ABC_WIN10_1	三郎 アクロニス (acro.s...)	OK	3月1日 12:06	未スケジュール
サーバー	AB12_WIN2012_1	三郎 アクロニス (acro.s...)	保護されていません	なし	未スケジュール
サーバー	AB12_WIN2012_2	三郎 アクロニス (acro.s...)	保護されていません	なし	未スケジュール
サーバー	AccessAdvanced1	三郎 アクロニス (acro.s...)	保護されていません	なし	未スケジュール
サーバー	dns-ad1	三郎 アクロニス (acro.s...)	保護されていません	なし	未スケジュール

- サーバー、PC、仮想環境、クラウドインスタンス、モバイルデバイス、Office 365 メールボックスをすべて同じ画面で管理
- dynaCloudのデータセンター上で提供されるクラウド管理コンソール
- オンプレにバックアップ管理サーバーを用意せずすぐにサービスを利用可能
- バックアップ対象や台数の拡張にも即時対応

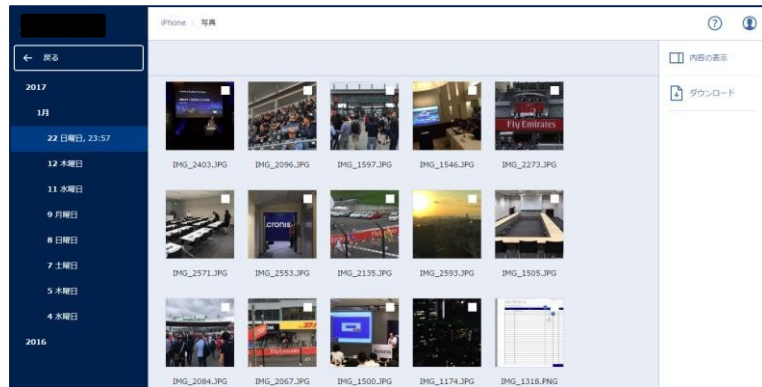
簡単操作のイメージバックアップ



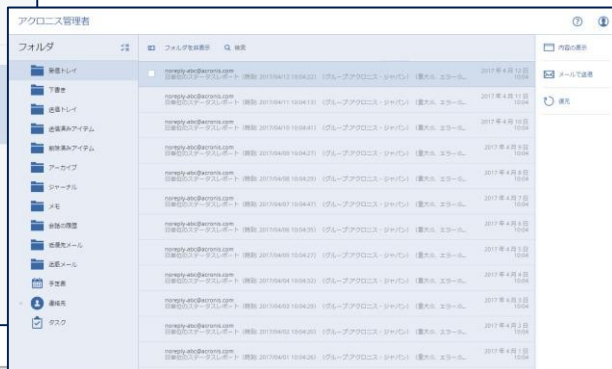
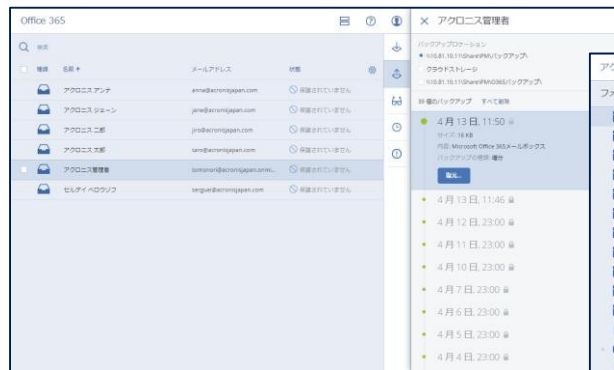
- 簡単操作のWebインターフェース
- OS、アプリケーション、設定、ファイル（全データ）をまるごとバックアップするイメージバックアップの元祖
- ファイル単位だけでなく、イメージバックアップもクラウドに直接保存



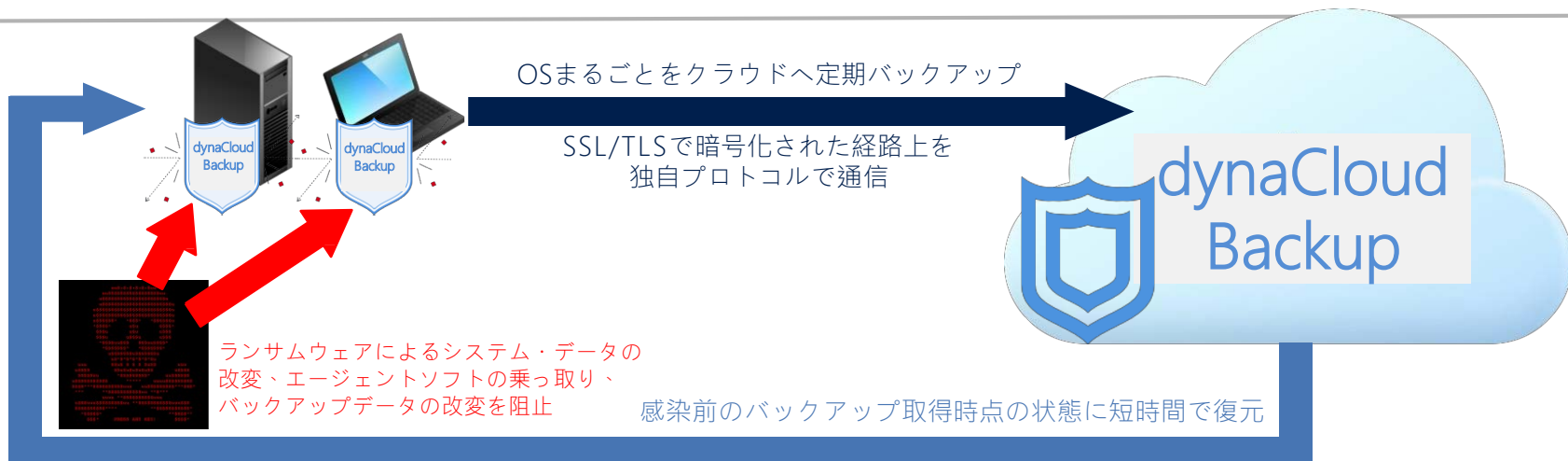
モバイルデバイス、Office 365



- これまで実現の難しかったスマートフォンやOffice365のバックアップサービス提供を実現
- モバイルデバイスやOffice365に付加価値をつけるバックアップサービスをアップセル/クロスセルすることで**収益増と顧客維持の両方を実現**



ランサムウェア対策



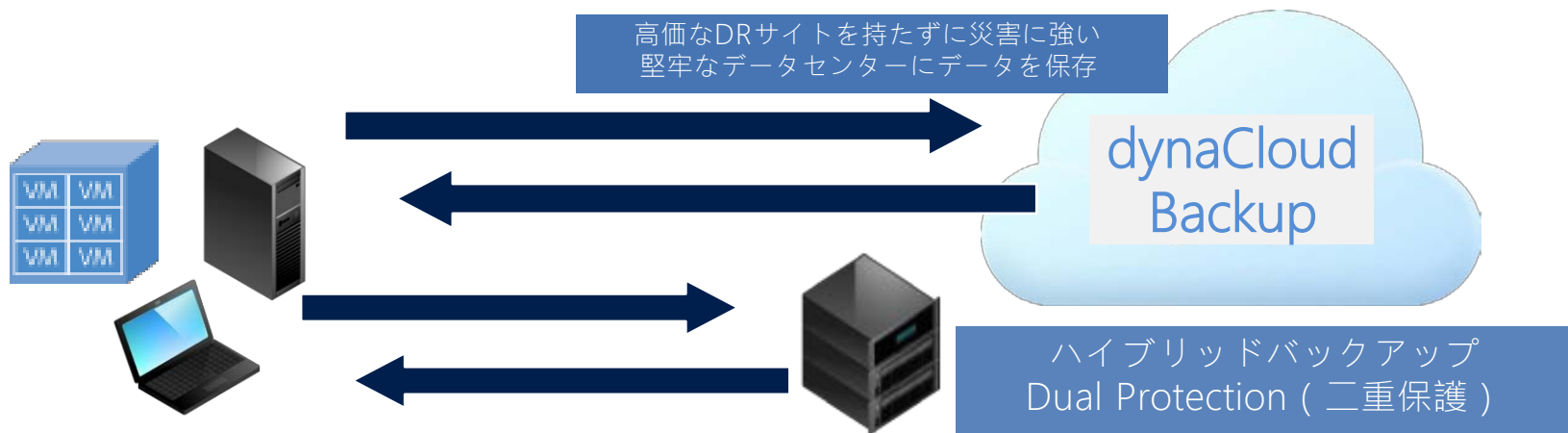
OSまるごとを安全なクラウドにバックアップ

Active Protectionとの併用でさらに強固なバックアップ・データ保護を実現

- ・ PCやサーバー上でランサムウェアを検知・遮断
- ・ エージェントソフトの乗っ取りを阻止
- ・ バックアップデータの改変を阻止

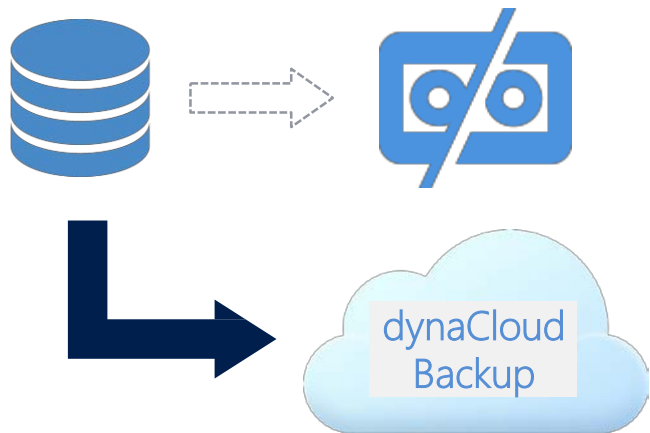
万一、ランサムウェアに感染してしまってもバックアップ時点の状態に短時間でOSまるごと復旧

DR/BCP



- オンプレミスとクラウドのハイブリッドバックアップ
- システムやハードウェアの障害時はオンプレミスから高速復元
- 異なるロケーションへの復元が必要な場合はクラウドから復元

テープからクラウドバックアップへ



一次バックアップ保存先（ディスク）からのデータコピー先（二次バックアップ保存先）をテープからクラウドに移行することで、複雑なテープ管理から脱却

Disk to Disk to Tape (D2D2T)
から **Disk to Disk to Cloud (D2D2C)** へ

価格

■基本サービス

初期費用	登録費用	LP: 3万円
月額費用	基本サービス(1TB)	LP: 4万円

■オプションサービス

初期費用(※)	容量変更1回	LP: 3万円
月額費用	容量増設(0.5TB)	LP: 2万円

※契約時に容量変更を同時に行う場合は、オプションの初期費用は不要です

